

## カンボジアの融資状況

岡山県カンボジアビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Mak Brathna)

### はじめに

経済成長を続けているタイとベトナムに囲まれたカンボジアにも投資ブームが訪れ、GDPの上昇とともに人々の購買意欲も高まりつつある。カンボジアにおいても不動産開発が盛んとなり、外国人不動産投資家による不動産購入が増加している。国内海外を問わず、投資家は不動産事業のみならず、他の事業も行っている場合が多い。こうした事業を行うにあたり、カンボジア人投資家は国内で銀行もしくはマイクロファイナンス（小口金融）から融資を受けていると見られるため、今回はカンボジア国内で行われている融資について報告する。

### カンボジアの状況

カンボジア国内総生産の成長率は、2014年の7%に対して2015年には7.3%と増加し、2016年には7.5%になると予想されている。最近では、自分で事業を行いたい人が増加し、資金が足りない場合は、銀行もしくはマイクロファイナンスから融資を受ける場合が多いとのことである。用途は不動産投資が多いが、マーケットでの小売や移動販売等の小さな事業を行う場合もある。

### 不動産開発の状況

不動産開発業者の発表によると、2015年は居住用住宅の建設が増加、2014年の居住用住宅建設戸数41,000～42,000戸に対し、2015年には第3四半期までに47,000戸が建設され、既に前年比15%増となっているが、まだ需要を満たしていないとのことである。通常、戸建住宅価格は44,000～190,000米ドルで、ヴィラの平均価格は60,000～1,000,000米ドルとなっている。

一方、カンボジア国民1名あたりGDPの額や一般的な給与水準から考えて、自宅を購入出来るのはどのような層なのか、カンボジア国内でも議論されている。

### 銀行・マイクロファイナンスの融資及び預金

カンボジアマイクロファイナンス協会によると、カンボジアにおける主要銀行及びマイクロファイナンスは貸付金レポートを作成しており、2015年第3四半期末の状況は以下の表の通りとなっている。

## 【銀行登録リスト（上位抽出）】

（単位：百万米ドル）2014年末時点

	銀行名	預金残高	融資残高
1	ACLEDA Bank Plc.	1,943	2,005
2	Canadia Bank Plc.	1,662	1,403
3	Cambodian Public Bank Plc.	1,135	858
4	ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.	874	450
5	Foreign Trade Bank of Cambodia	480	363
6	Bank of China Limited P.P Branch*	472	241
7	Advanced Bank of Asia Ltd.	423	263
8	May Bank (Cambodia) Plc.	365	352
9	Union Commercial Bank Plc.	351	300
10	CIMB Bank Plc.	266	206
11	Vattanac Bank	262	137
12	Bank for Investment and development of Cambodia Plc.	200	446
13	Cambodian Commercial Bank Ltd.	169	48
14	Phnom Penh Commercial Bank	167	168
15	RHB Indochina Bank Ltd	140	214

## 【マイクロファイナンス団体登録業者（上位抽出）】

（単位：百万米ドル、人）

		基準日	融資	融資者数	預金	預金者数
1	ACLEDA	2015/09/30	2,352	403,878	2,249	1,595,703
2	PRASAC	2015/09/30	791	300,195	432	431,484
3	Sathapana Limited	2015/09/30	446	110,453	255	119,818
4	AMRET	2015/09/30	393	309,179	187	161,022
5	HKL	2015/09/30	325	104,269	230	188,540
6	LOLC	2015/09/30	160	207,249	-	-
7	VisionFund Cambodia	2015/09/30	120	268,114	-	-
8	AMK	2015/09/30	119	323,564	58	123,324
9	KREDIT	2015/09/30	116	90,336	48	28,808
10	LY HOUR	2015/09/30	35	11,244	-	-
11	AEON	2014	21	30,749	-	-
12	First Finance	2015/09/30	19	1,617	-	-
13	SAMIC Plc	2015/09/30	13	19,561	-	-

一般的には、主に銀行が大規模企業へ融資を行い、マイクロファイナンスが小売業者に利用されていると見られる。小売業者がマイクロファイナンスから融資を受けると決めた理由は、金利が銀行より高率であるにもかかわらず、借りるための手続きが簡単であるためである。小規模事業者は短期融資を受ける場合が多く、事業から利益を得られれば早々に返済することが多いとのことである。

さらに、個人向けの生活用品に特化した融資も多く行われるようになってきている。例えば、バイク、スマートフォン、パソコン、自動車、そして居住用住宅である。特に若者の間で、スマートフォン、バイクの普及が進んでおり、大学卒の初任給が月給 200 米ドル程度であるカンボジアにおいても、バイク、スマートフォンを購入することが多い。カンボジア市場調査のデータによれば、自宅を購入する場合は銀行融資を受け、他のものを購入する場合はマイクロファイナンスを利用するとされており、以下の商品を新規購入したアンケート調査回答者のうち、マイクロファイナンスを利用したと回答したのはバイク 22%、スマートフォン 4%、パソコン 6%、自動車 3%となっている。

また、カンボジア中央銀行の発表によると、不動産分野への融資が大幅に進んでおり、融資総額のうち 19%、約 20 億米ドル程度が不動産分野向けであるとのことである。

### 終わりに

カンボジア人の資金需要が高まる一方で、平均給与はそれほど高くないのが現状である。事業や消費を行いたいカンボジア人の多くが、本レポートで紹介した制度を活用して資金を得ていると考えられる。

参考 ※ブラウザにより表示できない場合があります。

1. <http://www.thebaycambodia.com/why-cambodia/>  
「2014 年 2015 年のカンボジア国内総生産」
2. <http://www.adb.org/countries/cambodia/economy>  
「2015 年と 2016 年のカンボジア国内総生産率」
3. <http://goo.gl/QzhJ83>  
「カンボジア不動産開発率の増加、クメール語版」
4. <http://www.mixmarket.org/mfi/country/Cambodia>  
「銀行及びマイクロファイナンスの貸付・預金のデータ」
5. カンボジアビジネスパートナー雑誌の 14 ページ目 第 2 出版
6. [http://nbc.org.kh/english/economic\\_research/banks\\_reports.php](http://nbc.org.kh/english/economic_research/banks_reports.php)  
「カンボジア中央銀行レポート」